

10月の毎週火曜日開講

2018年

10月 2・9・16・23・30日

午後6時30分から8時30分

水俣市公民館 2階 第1研修室にて

水俣市浜町2丁目10-26

10/2

「沖縄戦を語り継いでいく具体的な提案～”伝え手”となってもらおう平和学習実践～」

国仲 瞬（株式会社がちゆん 代表取締役社長）

10/9

「四日市公害から学んだこと。今、私たちにできること。」

谷崎仁美（自然観察指導員三重連絡会 事務局長）

10/16

「被爆二世として生きる」

寺中正樹（山口被爆二世の会 代表）

10/23

「あおぞら財団の活動と公害経験を伝えること」

村松昭夫（あおぞら財団 理事長）

10/30

「水俣病を学び伝えていく ～あやまちを繰り返さない主権者となるために～」

高木 実（水俣・芦北公害研究サークル）

○受講はすべて無料です

○全講義受講者には修了証を発行します

主催：熊本学園大学水俣学研究センター

後援：水俣市教育委員会

お問い合わせ・お申し込み

水俣学現地研究センター

開館時間 火～金 午前10時から午後4時

水俣市浜町2丁目 7-13

TEL 0966-63-5030 FAX 0966-83-8883

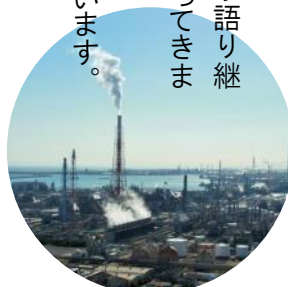
e-mail m-genchi@kumagaku.ac.jp

負の歴史をどう語り継ぐのか

～次世代による負の遺産の伝承とは～

戦争や公害を経験した世代が高齢化し、多くが亡くなっています。人類の経験、負の歴史を次世代に、さらには次世代の人びとが、どう語り継ぐのか。各地で問題になってきています。たとえば、沖縄戦、ひめゆり部隊の経験を子供の世代が語り部として、見学者を案内するようになってきました。水俣病資料館でも、第一次訴訟の原告や認定患者に代わって、家族が語り部として語るようになってきました。

この講座では、各地の取り組みを聞く中で、水俣病被害を次世代に、また次世代の人びとがどのように伝えていくのかを、考えていきたいと思います。



熊本学園大学 水俣学研究センター

第十五期 公開講座